

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	限られたスペースの中でよりよい支援が行えるよう、間取りを工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	1	1	利用定員に対して職員数がギリギリの時期があった為、今後は安定した職員数で支援できるよう環境を整えていく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	4	0	施設内はバリアフリー化がなされているが、外は玄関前に段差がある為、段差をなくす必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	0	0	職員間での情報共有の時間を大切にしながら運営を行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	今年度も保護者様から事業所所評価を提出していただいた。記載されていた内容に関しては改善を図っていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	1	0	毎年 H P 上で公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2	0	外部評価の機会がほとんどない為、改善していく必要がある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	月に一度の定例研修の他、事例検討会等も行っている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	保護者様のニーズをもとに、お子さんの課題を一緒に考え、個別支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	事業所のシステムが変わった為、新しいアセスメントツールを使いながら支援を行っている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	プログラム内容の情報共有を行いながら支援にあたっている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	様々な指導員の視点から、プログラムの作成を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	お子さんの希望を聞きながら、都度対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成	5	0	0	月に一回程度、小集団イベントを行っている。

	しているか				
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	毎朝必ず打ち合わせを行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	打ち合わせの時間やそれ以外の時間でも気づいたことがあれば情報共有を行っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	都度記録を取り、職員同士で共通認識を図って支援を行っている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	半年に一度は必ずモニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	5	0	0	学習だけでなく、コミュニケーション面やその他の支援も組み合わせてプログラムを作成している。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	サービス担当者会議には積極的に参加している。しかし、管理者と担当指導員が一緒に参加することが難しい場合もある。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	直接学校とやりとりをしているわけではないが、利用者様(保護者様)を通じて学校行事や下校時間等の確認を行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				医療的ケア児に関しては受け入れていない為、未記入。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	児童発達支援から継続して利用しているお子様に関しては機会を作ることはできるが、放課後等デイサービスからご利用された方に関しては情報共有等ができていない。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	0	まだ該当する利用者様がいらっしゃらない為、今後は移行に対する支援も行っていく必要がある。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	1	専門機関との連携は行っているが、研修は行うことができていないため、今後積極的に行っていけるようにする。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4	障がいのない子どもとの交流については実施できていない為、今後の課題となっている。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	2	3	協議会への参加ができていないため、今後は積極的に参加していく必要がある。

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	0	1	4	毎回支援後にフィードバックを行い、保護者様と共通理解を図れるよう努めている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2	0	ペアレント・トレーニング等については、まだ研修を受けていない職員もいるため、今後研修を受講する機会を設けていく。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	契約の際に必ず説明を行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	毎回のフィードバックの時間にご相談にのっている。また、必要に応じて事業所内相談も行っている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	3	父母の会や保護者会等はないが、ママカフェ等、保護者様同士が繋がることのできるよう支援していく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	苦情受付窓口を設置し、体制を整えている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2	0	会報の作成は行っていないが、HPのブログに情報を載せている。定期的に更新できるよう努めていく。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	HPへの写真のアップの仕方等にも注意している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	コミュニケーションの取り方や支援の方法を工夫しながら対応している。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	0	4	地域連携まではまだ結びついていないため、今後の課題として開かれた事業所運営を行っていく。
	非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0
㉛		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	月に一度必ず防災訓練を行っている。また、避難用バックの中身についても確認を行っている。
㉜		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	年に一度行っている。今年度は11月に行った。
㉝		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	身体拘束の必要性がある場合は、必ず説明を行っている。
㉞		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示				食品を扱っていないため未記入。

	書に基づく対応がされているか				
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	2	1	事例集の作成までは至っていないため、今後は些細なことでも事業所内で起こった場合は記録を残していく。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」秋田駅東校

保護者等数（児童数）：35 回収数：30 割合：85.7%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	25	4	1	限られたスペースではありますが、配置の工夫等を行いながら、より良い支援を行えるよう職員で話し合っています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	25	5		・現在、秋田駅東校には作業療法士の資格をもつ職員はおりませんが、他校者には資格を持った者がおりますので、助言をいただいたり、研修を受けたりしながら支援を行うことはできます。 ・職員の資格等は保護者様に伝わるよう提示していきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	10	2	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	28	1		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	29	1		
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	14	8	今後このような機会を作れるよう努めています。
保護	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30			

者 へ の 説 明 等	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	28	2		
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25	5		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	17	7	保護者様同士が関わることができる機会を作っていきます。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	21	8		苦情につきましては体制を整え、迅速に対応していきます。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	26	3	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	28	2		
非 常 時 等 の 対 応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	29	1		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	20	10		毎月防災訓練を行っております。今後は利用者様にも参加していただきながら訓練を行っていきます。
満 足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	3		
	⑱	事業所の支援に満足しているか	27	1		屋外での活動も今後取り入れていくことができるよう、職員で話し合っていきます。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。